

千葉支部 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の概要

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)とは

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)とは、各医療保険者が保有しているレセプトや健診データ等を活用・分析し、PDCAサイクルを十分に意識して効果的・効率的な保健事業を推進していくための計画で、第2期は平成30年度から平成35年度までの6年となります。

千葉支部の状況について

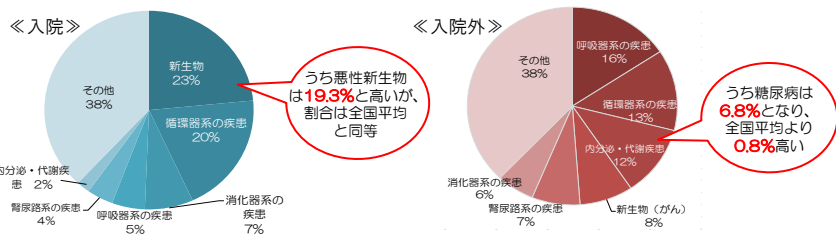
【千葉支部基礎データ(平成28年度末時点)】

○加入者数:895,508人
(被保険者:533,491人、被扶養者:362,017人)

○事業所数:61,780ヶ所

【医療費データについて(平成27年度統計データ)】

平成27年度の千葉支部における医療費は約1,142億円であり、入院医療費が約326億円、入院外医療費が約816億円となる。

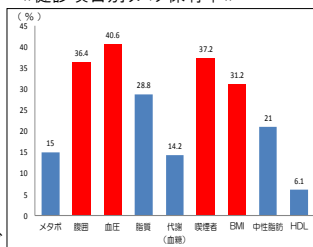


【健診データについて(平成26-27年度)】

平成26-27年度に生活習慣病予防健診を受けた40-74歳の被保険者の問診結果、健診結果を全国と比較し、千葉支部が高リスクとなる項目は以下のとおり。

- 問診結果
→ 体重変化の割合、食習慣(朝食を抜く、間食) など
- 健診結果
→ 体重、BMI、血圧、喫煙者、保健指導該当者割合 など

《健診項目別リスク保有率》



上記より、千葉支部における特徴は食習慣等による体重・BMIの高リスクの他、喫煙のリスク率も高くなっている。また、医療費の面では糖尿病の割合が全国平均と比較して高いため、千葉支部における健康課題を「**糖尿病対策**」とし、計画を策定

千葉支部の目標・取組について

【健康課題解消に向けた目標について】

○上位目標(重大な疾患の発症を防ぐため、10年以上経過後に達成する目標)

- ・糖尿病による新規透析者の透析導入時の平均年齢を55.7歳から60歳以上に改善する

○中位目標(検査値の改善を目指す目標であり、6年後に達成する目標)

- ① 空腹時血糖値126mg/dl以上の50歳代健診受診者の該当者割合を6.69%から6.09%(0.6%減)に改善する
- ② BMI \geq 25kg/m²の健診受診者の該当者割合を、男性37.1%から34.46%(2.64%減)、女性22.6%から21.04%(1.56%減)に改善する

○下位目標(実施率の向上等、上位の目標を達成するための目標)

- ①健康づくりに取組む事業所割合の増加、②健康宣言事業所の拡大、③喫煙者割合減少、④特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上、⑤特定保健指導の実施率の向上、⑥受診勧奨3か月以内の医療機関受診者割合の向上

【千葉支部の取組について】

千葉支部ではこれらの目標達成に向けて、以下の5つの取組を軸として実施していく。

◆健康経営の普及促進(コラボヘルス)

- 事業主や加入者の健康意識の醸成、職場における健康づくり環境の整備など、土台の構築
- 健康宣言事業所における健康づくり事業のフォローアップ体制の充実
- 健康な職場づくり宣言実施事業所の拡大(平成30年4月末現在**345社**が宣言)

◆喫煙対策の実施

- 千葉支部における喫煙率は非常に高く、喫煙者数を減少させるための事業所の取組をサポート
- 出張禁煙セミナーや呼気一酸化炭素濃度測定の実施
- 事業主と支部長連名での禁煙おすすぬ通知の実施、禁煙者に対する表彰状の送付

◆特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

- 健診結果を基に加入者の健康リスク、地域・事業所ごとの傾向や課題を把握
- 新規適用事業所や未受診の事業所に対する受診勧奨の実施
- 健診実施機関や検診車の拡充、オプション健診の実施、GISを活用した受診勧奨

◆特定保健指導の実施率向上

- 健康リスクが高い方を対象に生活習慣の改善を図ることで健康維持を図る
- 協会の保健師や管理栄養士による保健指導の着実な実施、特定保健指導機関の拡充
- 医療機関と連携した対象者全員に対する特定保健指導実施事業の拡大

◆重症化予防対策の推進

- 医療機関への未受診者等を対象に重症化しないように医療機関への受診に繋げる
- 治療が必要と判断されている方への医療機関への受診勧奨
- 医療機関・自治体と連携し、糖尿病該当者への医療機関への受診勧奨